

<第4358回>

目的地：廃村八丁（京都北山）

担当者：山本

実施日：2023年4月22日（土）～23日（日）

形式：テント泊縦走

費用：¥3,130.-（京阪淀屋橋発着、交通費のみ）

参加者：3名

行程：

22日（天気：快晴）

出町柳駅前BS(7:50)⇒(9:37)菅原BS(9:52)→登山口(10:15)→(10:48)ダンノ峠(10:58)→三叉路(11:30)→(11:39)P866(11:45)→(12:10)品谷山[昼食](12:40)→品谷峠(13:02)→(13:55)トラゴシ峠(14:07)→廃村八丁(14:30) [16:30夕食 21:00就寝]

23日（天気：快晴）[4:00起床・朝食]

廃村八丁(5:30)→四郎五郎谷出合(5:55)→(6:15)谷分岐(6:21)→四郎五郎峠(6:45)→(7:39)ダンノ峠北P830ポコ(7:50)→三叉路(8:07)→(8:45)佐々里峠(9:03)→P840への分岐(9:26)→(10:00)P813(10:05)→(10:30)大段谷山(10:40)→(10:57)P744(10:59)→(11:15)大段谷山(11:25)→灰野への分岐(11:47)→(12:18)P840(12:24)→(12:44)P832(12:47)→(13:01)佐々里峠(13:04)→(13:58)広河原BS(14:20)⇒出町柳駅前BS(16:15) [解散]

感想：

4年連続の廃村八丁のテント泊です。過去3回は秋に訪れましたが、今回は春の花、特にイワウチワやイワカガミを求めての山行です。ダンノ峠から品谷山へと向かう稜線に入ると早速イワウチワが咲いていました。もう最盛期を過ぎたようでしたが、それでも道中たくさん咲いていました。どちらかというといワカガミの方が咲いているかと思っていましたが、イワカガミが咲いていたのは2ヶ所だけでした。イワウチワはトラゴシ峠までの稜線や廃村八丁、四郎五郎谷にもたくさん咲いていて2日間とも目を楽しませてくれました。

ダンノ峠からの稜線歩きは快適でしたが、北風が強くて少し寒かったです。トラゴシ峠から廃村八丁に向かうトラバースの道が2年前に通った時よりも雨風で洗われて薄くなり歩きづらくなっていたのと、谷に下る下降点が倒木や灌木で不明瞭でGPSを使わないとわからないような状況になっていました。谷筋の道に入る谷へと降りる道も少し不明瞭でしたが、さほど荒れている感じはありませんでした。程なくして廃村八丁に到着。この日は川の水量が多くて少し徒渉するのにこずりましたが、お墓や八幡宮に立ち寄っていつものテン場に到着。今回も楽しいテント泊を楽しみました。

翌日、廃村八丁を出てすぐ、谷が倒木で遮られていて通過するのにまたこずりました。また、四郎五郎峠に登って行く途中も倒木で遮られていました。峠を越え桂谷に入ると昨秋見事な紅葉を見せてくれた木々が今度はまばゆいばかりの新緑で出迎えてくれました。その後ダンノ峠まで行って昨日歩いた道を再び通る予定でしたが、同じ道を歩きたくないので、桂谷をそのまま詰めて稜線に出て佐々里峠に向かいました。

ピークハンターさんのプレートを探しての佐々里峠から大段谷山へのルートにはお花は少なかったですが、新緑が目を楽しませてくれました。残念ながら大段谷山にはPHさんのプレートはありませんでしたが、それでも何ヶ所かの標高点でプレートをゲットできたので、満足でした。佐々里峠に戻り県道をのんびりときれいな花を咲かせた八重桜を眺めながら広河原に下り、お昼のバスに乗って帰途につきました。

特記：

昨年11月に来た時にはなかった倒木であちこち道が遮られていて難儀しました。稜線やピークをトラバースするところでは道が抜けたり、洗われて薄くなって歩きづらくなっていました。整備してもらえないところではないので、年々歩くのが困難になっていくように思います。廃村八丁に入る道がどんどんなくなっていくのが心配です。